



人材の育成

社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国社会福祉法人経営者協議会

**全国社会福祉法人
経営青年会**

入会のご案内



情報交流



徹底した研究活動



経営協との連携

その先を見据えて



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

丸みのあるやさしい楕円は、社会福祉法人が目指す「多様性を受け容れる社会」や「一人ひとりの心の温かさ」を象徴しています。3つの重なりから浮かび上がる“人”の文字で、人と人とが支え合い、誰もが安心して暮らせる地域をつくり、「その人らしく生きる」を守り抜く、社会福祉法人の理念を表現しています。

全国青年会の活動内容

各種研修会の開催 (研鑽、資質向上、相互交流)

社会福祉法人の次世代を担う人材が社会福祉法人の経営に必要な知識や実践力を習得するため、社会福祉法人制度を取り巻く情勢や経営の実践的な内容の研修を実施しています。

(全国青年会のみならず、ブロック、都道府県青年会においても研修会を実施しています。)

【(参考)令和5年度 全国青年会主催の研修会】

- 「社会福祉法人経営青年会 全国大会」
- 「マンスリー座談会」
- 社会保障制度やDX(デジタルトランスフォーメーション)、人材定着など組織のマネジメントに必要な幅広い内容の研修を開催

1



最新の情報や 専門知識の提供と、 会員相互の情報交換

社会保障・福祉政策の動向や青年会の活動報告など、各種情報提供を行っています。

【広報ツール】

- メールニュース
- LINE公式アカウント
- Webサイト
- facebook 等



2



情報交流

3



徹底した研究活動

研究・提言活動

社会からの信頼と期待に応えるための社会福祉法人による取組の推進や、福祉サービスの質の向上・業務効率化、2040年に向けた社会福祉法人がめざすべき将来像の構想など、社会福祉法人が抱える様々な課題に対応するために委員会を設け、研究や政策提言活動などを進めています。

【(参考) 令和5・6年度の委員会】

- 総務DX推進委員会
- 法人経営・事業展開検討委員会
- 組織人材マネジメント委員会
- 福祉施策研究・提言委員会



全国経営協との連携

4

全国経営協との連携

全国青年会は、全国経営協の内部組織として大きな役割を担っています。全国経営協の各委員会に本会選出委員が参画することで本会の活動成果等と結びつけています。本会から先駆的・具体的な提案を行い、自分自身の勉強・資質向上はもちろん、法人経営の最先端の一翼を担えることも魅力の一つです。

詳細は本会WEBサイトにてご覧いただけます。

<http://www.zenkoku-skk.ne.jp/>



みらいの福祉をつくろう

社会環境や制度の変化をとらえ、
社会福祉法人の存在意義を発信していくためには

～2019年

社会福祉基礎構造改革により、措置制度から契約制度への転換が図られた。

また、改正社会福祉法が成立・施行されたことにより、社会福祉法人に対する経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等が求められる。さらに、地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人が主導的な役割を果たしていく必要がある。

～2025年

団塊の世代が後期高齢者となり、人口の約30%を高齢者が占めると推計されている。とくに、認知症高齢者の増加や医療費の増大にともなう財源確保の問題、介護医療従事者の人手不足等の課題にどう取り組んでいくかが重要な問題になる。

また、各地域において、障害者への地域生活支援や就労定着支援の推進、重度障害者への医療・介護ニーズの確保等が求められる。さらに、妊娠前から子育て期までの切れ目のない子育て支援の充実や、子どもの減少を背景とした保育施設の量的ニーズから質的ニーズの変化への対応等を図る必要がある。

～2040年

出生高位推計によっても、子どもの数の減少は続き、高齢者数はピークを迎え、それを支える生産年齢人口は急減するとされていることから、持続可能な社会保障のあり方が大きな問題になると指摘されている。

そのような中、高齢者をはじめ、障害者や子育て世代の女性等による多様な就労・社会参加の促進や、テクノロジーの活用等による医療・介護、その他福祉サービスの適切な確保等が課題となる。

また、社会構造の変化により、福祉の枠を超え、新たな社会課題等が顕在化されると推測される中、地域福祉の担い手として高い公益性と非営利性を兼ね備えた我々「社会福祉法人」への期待がいつそう高まることが考えられる。

社会福祉を取り巻く現状

いま日本では、貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ホームレス、ニートなど、深刻な福祉・生活課題が噴出するとともに、それらの課題が複雑化し、問題の解決が難しくなっています。これらの問題は、既存の公的な制度のみでは対応することが難しく、包括的・重層的な支援体制の構築が求められています。

社会福祉法人のめざす姿の実現に向けて

地域づくりの実践

社会福祉関係者、住民・ボランティアだけでなく、地域社会のありとあらゆる構成員が「我が事・丸ごと」の意識を醸成できるような取組を促進する。

ガバナンス・財務規律の強化

経営管理体制の強化や事業運営の透明性の向上に努めることで、非営利法人としての公益性を発揮し、社会の期待に応える。

福祉サービスの整備

社会福祉法人の原点に立ち返り、制度が対応できないニーズに対しても、福祉サービスの専門性をさらに高めることで確実に対応する。

社会に対する情報発信

現況報告書や定款等、義務づけられたものだけでなく社会福祉法人の存在意義を積極的に発信することで業界全体のポジティブなイメージの形成につなげる。

次代の福祉実践者のあるべき姿とは？

これまでの歴史や積み重ねてきた実践に裏づけられた社会福祉法人の「本質」をしっかりと受け継ぎ、今後、我が国における高齢化率の上昇や福祉人材不足といった

問題に対して、危機感を持って効率的な経営に挑まなければなりません。

次代の福祉実践者には、福祉業界を魅力あふれる業界にするた

め、またそれぞれの法人を働きたいのある組織にしていけるために、種別（高齢、障害、保育等）や制度とといったさまざまな枠を飛び越えた取組の実践が求められます。

みらいへの志とともに

会員からの声

研修会への参加を通して、マネジメント力を向上させることができた！



多くの志ある仲間との出会いが全国青年会の大きな魅力です。



法人職員が入会以降、主体的に仕事に取り組むようになりました！



最新の情報を学ぶことができ、自身の成長につながります。



全国青年会 会長あいさつ



次代を担う
人材の輩出

全国社会福祉法人
経営青年会
会長 村木 宏成

全国青年会へのエール



いまあるフクシを
超えていく

全国社会福祉法人
経営者協議会
会長 磯 彰格

コロナ禍後の法人経営、物価高騰、報酬改定といった近々に対応すべき課題から、人口減少社会のなかでの事業展開や法人経営など長期的な課題に直面するなか、我々青年会はそうした課題に対し、主体的かつ先駆的な実践に取り組んでいくことが期待されていると考えています。

社会福祉法人が社会から求められる役割を果たし、そして存在意義を発揮できるよう、全国経営協や各ブロック、各都道府県との連携・協働を重ね、組織を牽引する青年会会員の皆様の資質向上に向けた活動に努めてまいります。皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

私自身も全国青年会の一員として、また、第4代目の会長として、全国青年会で活動してきました。法人を離れ、社会福祉業界で活躍している方々との出会いとそこから得た学び、そして本気で話せる仲間の存在は、青年会という土壌がなければ経験できなかったと痛感しています。

コロナ、物価高騰、相次ぐ災害など、人びとが様々な課題に直面しているときにこそ、社会福祉法人の役割は重要です。青年会の柔軟な発想と確かな行動力で、いまあるフクシを超えて、社会福祉業界に活力を注いでくれることを願っています。

入会方法

本会ホームページにアクセスしていただき、入会申込フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

会員資格

社会福祉施設を経営する社会福祉法人に所属する満50歳未満の経営者・管理者等。

会費

1人あたり年額1万円
※全国青年会にご入会いただくと、ご所属の各都道府県青年会にも入会いただく必要があります。
※都道府県社会福祉法人経営青年会の会費については、各都道府県で異なります。お申込みの際にご確認ください。



社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会

全国社会福祉法人経営青年会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 法人振興部内
TEL.03-3581-7819 FAX.03-3581-7928